



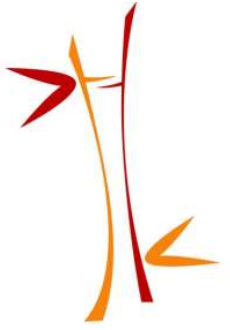
防災で未来をつくる

2021 年度 事業計画

【認定】 特定非営利活動法人

SEEDS Asia

2021 年 5 月



団体概要

団体のビジョン

災害に負けない持続可能な社会

団体のミッション

最も脆弱な立場にある人々に、命、まち、暮らしを守るための適切な手段や技術、知識、スキル、そして他者とのつながりをもたらすこと

活動目的

アジアにおける環境問題や災害に負けない持続可能な人づくり・まちづくり

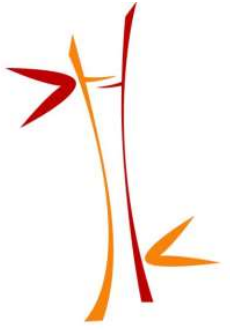
活動理念

▼SEEDS Asia が大切にしている 5 つのつながるアプローチ

- 政策と行動
- 科学と実践
- 神戸と東北、アジア世界
- 環境と暮らし
- 過去・現在・未来迅速な行動

行動規範

- 最も弱い立場にある人々へのリーチ
- 参加型意思決定
- 現地環境・文化への適応
- 非差別的アプローチ
- 個人への配慮
- 秀逸の追求



キーワード

人間の安全保障、防災と開発、持続可能性、アジア太平洋地域、より良い復興、包括的学校防災、まちづくり、防災の担い手づくり、理論と実践の相乗効果

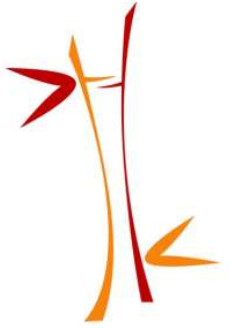
事務局所在地・連絡先

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412 Fax: 078-766-9413

団体設立

SEEDS Asia は 2006 年 9 月より特定非営利活動法人として活動しています。



2020年度事業計画

1. 基本方針：SEEDS Asia 2030プラン 5つの方針継続

SEEDS Asia10 周年記念会議（2017 年）を機に策定された「SEEDS Asia 2030 年プラン」の基本方針に基づき、専門的で質の高い防災事業の持続的な運営を成し遂げ、仙台行動枠組・持続的な開発目標の達成に寄与します。

SEEDS Asia 2030：5つの基本方針

- 仙台防災枠組（SFDRR）と持続的な開発目標（SDGs）の達成に寄与し、専門性を活かした質の高い防災事業に取り組みます。
- 事業を通して、SEEDS Asia のブランドイメージを高めるとともに、事業パートナーを介して、そのブランドイメージのアウトリーチを推進します。
- 事業成果をもとに、収益性のある事業の創出を図り、事業収入の増加を図ります。
- 広報強化により、SEEDS Asia の認知度を高め、寄付金等の収入増を図ります。
- 多様化された財源を組織の基盤強化に充て、持続的な事業・広報の実施につなげます。



2. 重点活動：4つの優先行動に基づくSEEDS Asiaの8つの重点活動の推進

国内外で災害が甚大化・頻発化する中、防災はよりその重要性を増している。「SEEDS Asia 2030 年プラン」では、仙台防災枠組の4つの優先行動に基づき、SEEDS Asia として日本を含めたアジアにおける経験や知見を活かし発展させる8つの重点活動を推進し、以下のとおり年度目標の達成に取り組むこととする。

一方、SEEDS Asia 2030 年プランの策定から5年が経過し、内部モニタリングを推進する中で、成果を測る指標については不足点が見られる。2020年の事業実施の中で、各プロジェクトや重点活動の成果を測る共通の指標の開発を通じた SEEDS Asia 基準の確立、質の確保並びに適正かつ効果的な活動推進に向けたテクニカルアドバイザーの起用を進めていくことが事業実施の上で求められることが明らかになった。さらに、2020年の新型コロナウイルスの影響により、従来の活動や手法を想定した数値目標の変更が今後生じる可能性が高く、新たなツールやメディアを活用した手法の開発による目標の達成が必要である。

1) 仙台防災枠組 2015-2030 4つの優先行動と SEEDS Asia 8つの重点活動「2030 年プラン」

災害リスクの理解促進	レジリエンスを高める 防災への投資	災害リスクガバナンス 強化	備えの強化と「BBB」
災害リスクの高い地域を中心に、現地の状況やニーズに応じた 防災知識や技術の普及・防災意識の啓発 を実施します。	レジリエンスを高めるための研究者への支援や共同研究等の促進により、 事業と研究のシナジー効果を生み出します。	対象地地域に於ける学校や地域住民による災害リスク管理の体制を強化・推進するため、 指導員を育成すると共に、防災計画の推進に向けた体制と計画整備を支援 します。	緊急支援に始まる復興プロセスの各段階に応じ、 災害前よりもレジリエントな状態を目指した活動を展開 します。また、緊急時にも社会的な脆弱層を視野に入れた人道支援の国際基準に基づく支援をおこないます。
防災/環境教育・啓発	防災研究・調査促進	防災指導員育成	緊急支援・避難者支援
ツールの開発	より安全な建設の推進	防災管理体制強化・促進	コミュニティ防災

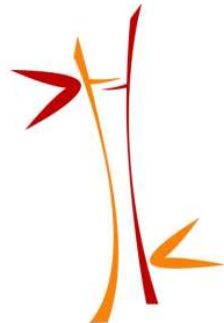


SEEDS Asia

2) 2021 年度の 8 つの重点活動実施と達成目標/活動内容の設定

重点活動 8 項目の 2030 年目標に向け、各活動の達成度を計る指標を下記のとおり定めた。また別途目標を達成するための戦術についても別途設定した。

4 つの 優先事項	8 つの重点活動	2021 年度の達成目標と活動内容
災害リスクの 理解促進	①防災/環境教育・啓発	目標：3,664 人への防災教育や啓発の機会を提供する (日本 280 人、ミャンマー67 人、フィリピン 0 人、バングラデシュ 3,512 人、インド 30 人)
	②ツールの開発	目標：日本において持続的に活用・改善できるツールを 4 つ開発する ● 全事業地：HP 上で Smart Knowledge Resource Centre (SKRC) として啓発ツールをオンライン化 ● ミャンマー：「建設の心得」作成（④共通） ● バングラデシュ：動画・防災ハンドブック ● 日本・長野：住民の意見集約ツール
レジリエンスを 高める防災への投資	③防災研究・調査促進	目標：事業の効果や教訓、アジアの共通課題について研究論文・出版物を発表する ● 各事業の効果的な事業の実施に関わる研究・学術界及び科学研究機関との連携を進める（バングラデシュ事業で一本執筆）
	④より安全な建設の推進	目標：教育継続を可能にする避難施設の普及と SEEDS Asia のミニマムスタンダードの基盤を整備する ● ミャンマー：学校兼シェルター/避難所ホール完工 ● ミャンマー：「建設の心得」の完成
災害リスクガバナンス強化	⑤防災指導員育成	目標：学校・地域・行政の担い手 108 名を達成 ● 学校/地域 防災指導員の育成 (日本 25 人、ミャンマー42 人、フィリピン 0 人、バングラデシュ 15 人、インド 0 人)



SEEDS Asia

	⑥防災管理体制強化促進	<u>目標：学校防災計画・地区防災計画における国際基準を満たした SEEDS Asia ミニマムスタンダードの基盤を確立する</u> ● 学校防災計画作成（バングラデシュ）
備えの強化と「BBB：より良い復興」	⑦緊急支援・避難者支援	<u>目標：各事業実施国で積極的に事業実施に関与し、防災や緊急時の活動の担い手として、資金や人的リソースを集約できる人材を任命・ネットワーク化するための基盤を整備する</u> ● SEEDS Asia テクニカルアドバイザー（法律分野）の任命 ● 基準に基づき、緊急支援事業開始を判断
	⑧コミュニティ防災促進	<u>目標：災害による被害が予測されている未災地での活動を展開する</u> ● バングラデシュ：ラルマティア校における地域の連携強化 ● ミャンマー：ワーボチャーボ村小学校と地域の連携強化 ● 日本・鳥羽：鳥羽小学校と地域の連携強化



3. 特定非営利活動にかかる事業（国・プロジェクト別）

3-1：人材育成事業・その他事業に付随する活動

(1) ミャンマー



1) ヒンタダ地区における学校・地域防災普及推進事業

活動地域	ヤンゴン地域、エヤワディ地域
期間	2021 年 4 月～2021 年 11 月
従事者	10 名（現地職員含む）
受益対象者	地域住民、対象小学校の教職員および学生、教育省、社会福祉救済復興省・災害管理局等の行政機関、防災教育関係団体職員など
資金支援	外務省（日本 NGO 連携無償資金協力事業）
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、より安全な建設の推進、防災指導員育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	      

事業内容：

対象地のヒンタダ地区は、ミャンマーの主要河川エヤワディ河が分岐するデルタ地域の起点にあり、洪水の常襲地となっている。2018 年度から実施している包括的学校防災事業の継続案件として、洪水時の教育継続が困難なワーボーチーボ村にて、安全な学校兼シェルターの建設の完成とその活用にあたる防災の人材育成をおこなう。また、これらの建設事例をより広い対象に理解・実践してもらうために「建設の心得」を編纂し、建設デザインや施工のポイントについて広くノウハウを共有するツールづくりを継続する。

(2) バングラデシュ



1) 北ダッカ市における学校を中心とした地域の災害対応能力向上支援事業

実施地域	北ダッカ市
期間	2021 年 3 月～2022 年 2 月
従事者	7 名
受益対象者	モデル校の学校運営委員会・教員・生徒、地域住民
資金支援	外務省（日本 NGO 連携無償資金協力事業）



SEEDS Asia

SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、ツールの開発、防災指導員育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	      

事業内容：北ダッカ市では、火災による被害が年々増加している。2019 年 2 月に発生した大規模火災では、住居用アパートの一室を火薬倉庫として使用しており、そこが火元となり 69 名の死者が出る大惨事となった。建物の不適切な管理と相まって、ダッカ市内は道路も狭く、日常的な交通渋滞の発生により災害時に消防車が現場への到着が遅れ消火活動ができないこと、また、ダッカ市民が火災の発生原因、初期消火の重要性と方法（消火器の使い方等）を知らないことが、火災発生や被害の増加につながっている。本事業では、子どもの頃から防災について学ぶ機会を提供することの重要性に着目し、学校内の防災基礎インフラを整備し学校内の防災管理・防災教育能力を強化することで子どもの防災リテラシーを育みつつ、地域住民の防災拠点を確立するとともに、市民に対するメディアを通じた啓発ツールの作成を進め、北ダッカ市の住民の災害対応能力向上を目指す。

(3) フィリピン



1) フィリピンの被災地における災害遺構整備と気候変動へ対応した防災教育による学校防災強化事業

実施地域	セブ州
期間	2022 年 1 月～2024 年 12 月
従事者	8 名
受益対象者	学校の教職員及び児童、行政機関、対象地域住民、地域団体など
資金支援	JICA 草の根（地域活性化特別枠）
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発、防災指導員育成、防災管理体制強化・促進、コミュニティ防災の推進
SDGs との関連性	    



SEEDS Asia

事業内容：

2013 年 11 月に発生した台風ハイエン（ヨランダ）の被災地であるセブ州において、過去の災害の教訓と地域ごとの気象情報の理解促進を通じた「命を守るための判断基準」の確立を目指す。先行する 2 つの事業に引き続き、フィリピン国教育省第 7 地方事務所及び兵庫県教育委員会と協働で実施する。フィリピンでは過去の悲しい出来事について話すことを避ける傾向にあるが、台風ヨランダを契機に、教訓を未来に伝える重要性が認識され始めている。兵庫県は阪神・淡路大震災からの教訓を伝える災害遺構を各地に有し、これらを踏まえた学校教育が展開されていることから、その知見を現地に共有し災害遺構の整備に取り組む。また、フィリピンでは気象情報のメッシュが大きく、正しい気象理解が普及していないことから、SEEDS Asia や専門家により、ローカル化された気象情報と災害対応プロトコルの発動基準に関するトレーニングを実施する。

(4) インド



1) バラナシに子どもたちの感染症予防と教育継続支援事業

実施地域	ウッタルプラデーシュ州バラナシ市
期間	2021 年 1 月～2022 年 12 月
従事者	3 名
受益対象者	児童
資金支援	RICOH FreeWill
SEEDS Asia 2030	防災/環境教育・啓発
SDGs との関連性	  

事業内容：

2015 年度～2018 年度の案件を通じて SEEDS Asia がインドのバラナシ市で育成した「防災大使」との連携を通じて、新型コロナの影響で教育機会を奪われているインド・バラナシ市の子どもたちへの文房具配布と感染予防啓発活動をおこなう。



SEEDS Asia

(5)国内

1) 台風15号、19号被災地支援プログラム With コロナ時代の復興まちづくり協力/支援事業

実施地域	長野県長野市
期間	2021年4月～2021年3月
従事者	3名
受益対象者	地域住民
資金支援	ジャパン・プラットフォーム（JPF）、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）支援による、統合案件
SEEDS Asia 2030	ツールの開発、防災指導員育成、緊急支援・避難者支援、コミュニティ防災の推進
SDGsとの関連性	    

事業内容：

台風19号による千曲川の氾濫で大きな被害を受けた長野県長野市長沼地区は、今後も起こり得る災害の脅威にさらされていることに加え、今回の災害からの復興期・復興後のまちの在り方を問われている。そこで、本事業では現地事務所を開設し、より地元に密着しながら、①長沼地区復興対策企画委員会へ復興に関わる知見・情報を共有すると共に、②コロナ禍で一堂に会することができない中で誰も取り残さずに住民意見を収集できる手法やツールを検討・開発し、住民参加を通じた長沼地区復興計画の指針となる大綱（まちの未来像）づくりの支援を実施することを通じ、長沼地区復興対策企画委員会メンバーが、住民主体で納得感のある「まちの未来像」を復興まちづくり計画の骨子となる「大綱」として描けるようになることを目指す。



SEEDS Asia

2021 年度スケジュール（各事業スケジュール）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	メイン	アシスト
ミャンマー： N 連 延長単年度 案件		前年度 監 査・ 報告書				中間 報告		事業 終了					大津山	當間 有馬
フィリピン： JICA フェーズ 3	準備												有馬	大津山 當間
バングラデシュ： N 連 2 年次		前年度 監 査・ 報告書				中間 報告					事業 終了		佐藤 有馬	大津山 當間
日本・丹波													有馬	
日本:長野市													採用 予定	大津山 有馬 當間
インド (RICOH)	フォローアップ活動												大津山	有馬
研究関連													随時対応	
コンサル業務													随時対応	

3-2：その他事業に付随する事業

(1) 広報

実施地域	特定非営利活動法人 SEEDS Asia 本部（神戸）
期間	2021 年 4 月～2022 年 3 月
従事者	理事・アドバイザー有志、事務局
受益対象者	N/A

より多くの方に SEEDS Asia の活動を知ってもらい、支援していただく、あるいは協働で事業を実施したいと思っていただくために、昨年度に抽出した SEEDS Asia のキーメッセージや SEEDS Asia の 5 つのアプローチ等、特長を表現し、より信頼を高めるホームページの改訂をおこなう。facebook への情報掲載の仕方の再検討やレビュー、ニュースレター発行の継続と改善、Instagram の開始、国内外におけ



SEEDS Asia

る各防災に関わるイベントや講演に参加するなど広報活動を実施する。また、各事業で作成したツールを Web 上で公開する（登録・誓約、有償のものについては支払いへのプロセスを含む）。

2021 年度スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	メイン	アシスト
広報タスクフォース			活動計画			レビュー							広報 TF	
Web づくり	構成の提案	理事会承認	コンテンツ作成	業者依頼		開始							大津山 & 有馬	インターン？
成果物の共有													有馬	インターン？

(2) 講演、研修

実施地域	日本の各地
期間	2021 年 4 月～2022 年 3 月
従事者	5 名（理事・アドバイザーを含む）
受益対象者	一般、大学・高校の学生、教員、援助関係者など

未災地支援として、三重県鳥羽市への講師派遣、シンポジウムや学校の授業などを通してアジアや日本の災害と現状、防災教育、コミュニティ防災等についての講演や研修を依頼に基づき実施する。

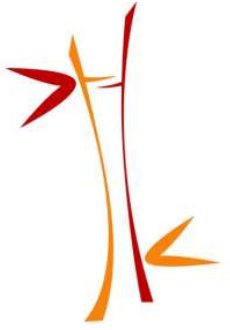
(3) 組織強化

認定 NPO 継続に向けて賛助会員 15 名、団体賛助会員一団体（企業）を 2021 年度の目標とする（現在 10 名、一団体 2020 年度から継続）。また、内部共有システムの改善、各スタッフの研修や講演への参加を促進する他、事務局が属する地域コミュニティとの連携・活動を通じてスタッフの能力強化を継続指摘におこなう。



SEEDS Asia

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	メイン	アシスト
理事会・総会														
資格への投資			継続											全員
内部共有システム (クラウド)			継続											全員



SEEDS Asia 事務局

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 1-7-7-307

Tel: 078-766-9412

Fax: 078-766-9413

Email: rep@seedsasia.org

Website: <http://www.seedsasia.org>